



— 卯野(うの)修三 議員活動報告 —

(1959年(昭和34年)1月3日生まれ 寺井高校卒業)

昨年秋に発生したハラスメント問題について、現在、能美市は、「風通しのよい職場づくり推進委員会」を設置し、二度と起こらないよう、改善に向けて動き出しておりますので、一議員として、今後、市の動きを注視してまいります。

「勇気・元気・やる気」+「根気・突破力」 能美市議会 副議長 卯野 修三 (3期目) (会派・能美保守の会 所属)

[市議になって取得できた資格]

(取得資格) 平成31年2月防災士、平成30年、令和元年と能美市の手話講座受講→手話検定5級、販売士2級、詩吟(吼山流)初段、実用英語検定2級、POP広告クリエイター3級
消費生活アドバイザー(産能大・通教修了)、のみ検定上級、ふるさと小松検定初級、金沢検定初級、白山検定初級、加賀ふるさと検定初級 取得
(主な役職) 能美市商工会理事、のみ商事(協)理事、寺井高同窓会長、てらかつ副会長、(過去の役職) 石川県商工会青年部連合会会長、小松明峰高PTA会長

<能登半島ボランティア>



◆3月21日 24回目
穴水町大郷(農業しいたけ)



◆4月9日 25回目
輪島市滝又町(泥出し)



◆12月5日
能美ロータリークラブ例会で
(寺高代表で御礼スピーチ)



◆1月29日
湯野こども園視察
(わかばみどりこども園も視察した)



◆2月7日
バレーボール九谷カップ応援
(能美市バレーボール協会会長として)
物見山体育館



◆2月8日
寺高吹奏楽定期演奏会挨拶
(根上タラント音楽ホール)



◆2月17日
介護老人保健施設
はまなすの丘視察(大浜町)



◆3月4日
のみ商業(協)で
かほく市と宝達志水町の商業団体を視察



◆3月28日
くまの会(37社)総会に
(写真は須天熊野神社にて)



◆3月29日
寺井校下壮年団
和田山清掃



◆4月4日
能美市太極拳協会総会
(辰口福祉会館)



◆4月5日
寺井町和老会総会
(多目的ホール)



◆4月5日
寺井町公民館主催
カーブミラー清掃を

令和7年12月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 12月8日

◆物価高対策および地域経済対策について◆

①物価高対策に、全市民を対象にした「のみ応援特典券」を発行せよ。

答え 井出敏朗 市長 現在、国の重点支援地方交付金について、国会で審議されている最中であり、全庁あげて情報収集し対策立案に着手している。尚、これまでコロナ禍対策・物価高騰対策で7回にわたり実施してきた「のみ応援特典券」事業について、7回目の利用率は過去最高の約75%になり市内の参加店舗と市民双方から高い評価を得て、地域経済の活性化に大きく寄与できたので、本事業を含めた支援等を速やかに検討したい。→尚、「のみ応援特典券」事業については、12月議会の最終日12月19日に市内店舗・施設応援事業2,300万円が予算計上され、本会議にて承認し令和8年3月より実施の運びとなった。

卯野は思った 参加店をわかりやすくするため店頭「のぼり旗」の設置を!!なぜ実施しないのか残念!

②令和7年3月にスタートしたデジタル通貨アプリ「トチツーカー」自治体ポイント「能美トチポ」の普及が伸び悩んでいるが、今後どのように展開していくのか。

答え 産業交流部 中川部長 令和7年11月末現在の市民登録者は2,476人で人口の約5%と伸び悩んでいる。今後、特典の充実(健康ポイントや各種イベント参加でポイント付与)や加盟店も現在の176店から増加と増やし、登録方法が難しいという声には担当の商工課(寺井分室)で登録作業を手伝っているの、市民へ粘り強くフォローアドバイスしていきたい。

卯野は思った 特に高齢者の方のためにも、スマホでの入力方法の説明会日時を設定し辰口・寺井・根上の3会場で実施してほしい。



12月議会

③組合員70名の小規模経済団体「のみ商業協同組合」には、今後どのようなサポートを考えているか。

答え 産業交流部 中川部長 2016年より「まちゼミ」の支援をしていましたが、今年は能美トチポの普及イベントへの支援を実施した。今後は2014年より導入した「のみカード」ポイント端末機が老朽化したため、更新費用の一部を支援できないか検討する。

卯野は思った 新規端末導入の際は、参加店舗の増加を期待!

◆関係人口についての施策・進展状況について◆

①石川県も関係人口創出のため、県で県内19市町、民間団体が参画し、県関係人口官民連携協議会がスタートし、11月より関係人口登録システム「いしかわのwa!」をスタートし、12月3日現在で640名の登録があったとのことですが、今後、能美市として国のモデル事業に応募する予定はあるか。

尚、関係人口とは移住を進める 定住人口でなく、観光を中心とした交流人口でもなく、地域の方々に多様に関わる方々です

答え 企画振興部 米脇部長 本制度は地域の活動に役立ち意義深いと考えるが、今後、国から示される制度を参考に、本市の実情に応じた「ふるさと住民登録制度」を見極めたいと考える。

(裏面もご覧下さいませ)

質問 ②石川県が進める**関係人口の登録制度「いしかわのwa！」**を含め、能美市として具体的にどのように進展があったのか。

企画振興部 米脇部長 11月2日に能美市で、いしかわ地域づくりシンポジウムが開催され、人づくり、関わりづくりの知見を深めた。「いしかわのwa！」の登録制度を活用し、本市の魅力を発信し関係人口の獲得につとめていきたい。

卯野は思った 「ふるさと住民登録制度」は、現在総務省・地域力創造グループが検討しているので、能美市も注視して行ってほしい。

12月議会の一般質問の まくら(冒頭)での発言



「一生懸命だと知恵がでる、中途半端だと愚痴がでる、いい加減だと言いついでる」これは戦国武将、**福林火山の武田信玄の言葉**です。肝に銘じて頑張ります。

令和8年3月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 3月11日

質問 ◆**第3次能美市総合計画について**◆
①**第2次総合計画の進捗状況はどのくらいで、目標指標の見直しは定期的**に実施したのか。

企画振興部 米脇部長 7つの分野別政策において精査したところ、全体の約半数が**目標達成あるいは達成見込み**となっており、とりわけ健康・福祉分野においては複数の指標で目標を達成。尚、目標指標自体の見直しは行ってないが、特定時に想定しなかった社会情勢の変化については適宜、事業を見直している。

卯野は思った 来年、第2次総合計画終了時には、各地区で報告会をしてほしい。

質問 ②**第3次総合計画を遂行するにあたり、目標指標に対するPDCAの実施方法は。**

企画振興部 米脇部長 毎年度、上半期に前年度の実績を検証し、目標指標の進捗状況を確認分析している。目標値との乖離がある場合は、速やかに軌道修正を図っている。PDCA (Plan (計画) Do (実行) Check (評価) Action (改善)) を回すことは大変重要であり、推移を注視し、着実に計画を達成できるよう取り組んでいく。



3月議会

◆**連携協定の現状・成果・今後の展望について**◆
質問 ①**能美市は、他自治体・民間企業などと68の災害時の応援協定を締結し、そのうち危機管理課が担当の連携協定が31あるが、災害発生時の指示系統、スピード感のあるピラミッド的管理体制は出来ているのか。**

総務部 橋場部長 災害発生時には、市長を本部長とし、各部長から構成される災害対策本部において、危機管理監である総務部長の統括の下、災害の規模や被害の状況に応じて応援体制、指示が行える体制を整備している。

卯野は思った いつ、どこで、誰が、的確に、スピーディーに指示するのかの体制づくりのためにも定期的な訓練を!!

質問 ②**連携協定先と定期的にコミュニケーションが図られているのか。**

総務部 橋場部長 協定締結先とは、平時から定期的に緊急連絡先と担当者の確認を行っており、必要な防災資材の提供についても、積極的な情報交換を行っている。自治体との応援協定については、知立市への災害救援物資を搬送する訓練や、昨年秋には2回目となる越前市との原子力防災訓練を実施し、災害時に備えての訓練を実施している。

質問 ③**連携協定を締結しての具体的な成果および今後の展望は。**

総務部 橋場部長 令和4年8月の大雨災害時には、水中ポンプとホースを連携協定先から借り上げ、市民へ貸与した。令和6年能登半島地震の際は、避難者の受け入れ先に、市内企業の社屋の一部を一時避難所として提供いただいたり、被災者に提供する被服や衛生用品などを短時間に確保できた。又、石川県内10市と締結している災害相互応援協定に基づき、本市職員を被災地へ派遣した。

◆**見本市等出展奨励事業の周知について**◆
質問 **九谷焼作家(重鎮の方、若手の方)には、本事業をどのように周知するのか、その具体的方法を問う。**

産業交流部 中川部長 本事業は市内の中小企業者および中小企業団体が、展示会に自社の製品やサービスを出展することで販売開拓・受注促進・事業拡大を図るための**経費(出展料・小間装飾料・梱包料・輸送料・印刷費)**の一部を助成する事業。平成22年に創設した事業で本年度から補助上限を従来の20万円から30万円に支援を拡大し、九谷焼関係は卸業者を中心に令和6年度5件、令和7年度は7件あります。市は九谷焼作家への支援は重要と考えており、ホームページでの情報発信だけでなく、石川県陶磁器商工業協同組合や九谷上絵協同組合などと連携し、九谷焼作家を含む関係者に情報が届くよう周知を図っていく。

卯野は思った 令和の斉田道開、令和の九谷庄三が出ることを期待します。

◆**ウルトラマン誕生60周年記念事業で誘客促進について**◆
質問 **ウルトラマン誕生60周年、脚本家佐々木守氏ご逝去20周年となる年に、ウルトラマンを活用した誘客促進事業を実施すべき。**

井出敏朗 市長 能美市はウルトラマンと深いご縁があり、手取フィッシュランドには、平成16年開設のウルトラマンスタジアムがあり、根上学習センター2Fの子ども宇宙科学室には佐々木守氏の功績を紹介するコーナーがあり、KAM九谷焼美術館体験館ではウルトラマンシリーズの絵つけ体験を実施している。本年度は、ウルトラマンシリーズ絵つけ作品部門と、能美市の風景に絵つけ作品を入れた写真部門の2部門で作品を募集し、10月に表彰式を行う。又、手取フィッシュランドにおいて、出張絵つけ体験会も開催予定です。今後とも全国的に知名度をもつウルトラマンを最大限活用し、インバウンドも含め、更なる誘客促進につなげていきたい。

卯野は思った ウルトラマンへの想いを語るシンポジウムの開催、能美根上駅の発信メロディにウルトラマンの曲の活用など夢が広がります。

3月議会の一般質問の まくら(冒頭)での発言



「**やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ**」**連合艦隊元司令官 山本五十六の言葉**です。この言葉を**井出市長**に申し上げ質問に入ります。

予算案の賛成討論での発言



3月25日、定例会最終日に孔子の論語より「**過ちては(あやまちては)、即ち、改むるに憚る(はばかる)ことなかれ**」の言葉を**井出市長**に申し上げた。

この言葉の意味は、自分の非を認めて修正する際、恥じたり、ためらったりしては、いけない。むしろ、間違いをそのままにしておくこそが、本当の過ち(あやまち)である。

能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16
TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812
メルアド uno0905@tvk.ne.jp

うの修三 検索 卯野修三



ホームページ



Facebook



Instagram